

自立支援協議会を活用した 地域課題の取り組み

氷見市地域自立支援協議会
～就労支援連絡会の取り組み～

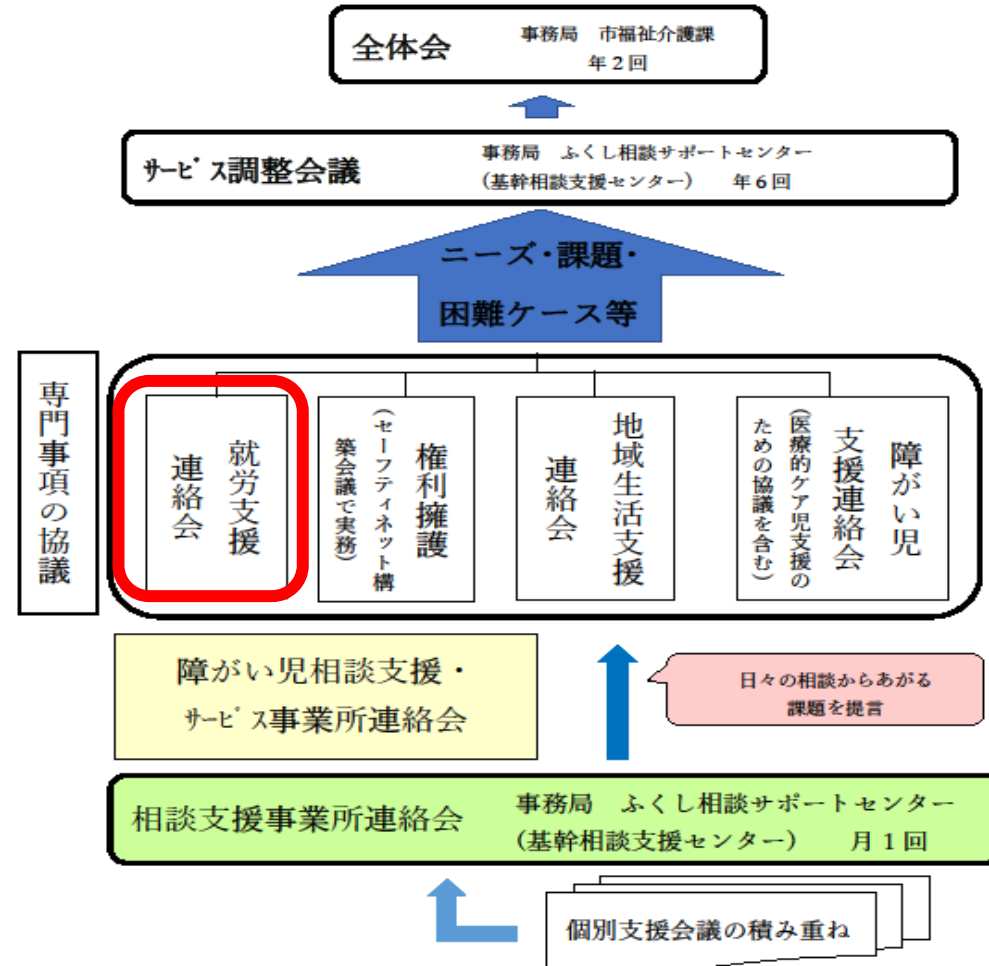
令和7年度

株式会社 Four Leaf Clover

就労継続支援B型事業所 ひびき

サービス管理責任者 前田 美佐子

氷見市地域自立支援協議会組織図



資料提供者：
ふくし相談サポートセンター
(基幹相談支援センター)

氷見市地域自立支援協議会 就労支援連絡会

目的

氷見市地域自立支援協議会の専門部会として、市内の障害者が地域で自立した日常生活または社会生活を継続し営む事ができるように就労系サービス事業所が連携を図り、市内全体の就労サービスの質の向上や課題解決を図ることを目的とする。

構成員

氷見市福祉介護課障害者支援担当者	1～2名
ふくし相談サポートセンター (基幹相談)	2～3名
氷見市内就労継続支援A型事業所 2か所	各事業所から1～2名 管理者 サービス管理責任者 職業指導員 生活支援員 ピアサポーター 等
氷見市内就労継続支援B型事業所 7か所	
氷見市内就労移行支援事業所 1か所	
ハローワーク氷見	1名
高岡障害者就業・生活支援センター	1～2名



検討・活動内容

【検討課題①】一般就労への就職支援

一般就労をしたいけど、一般就労をしたことがなく不安に思う。
一般就労ってどんなことなんだろう。
事業所に通っているが、将来はどのように働いたらいいのか？

ご利用者さんのこんな悩み聞いたこと
ありませんか？

サビ見管や支援員が事業所で当事者を支えながら
見えた個別のニーズ、課題が多くありました。

【検討課題①】 一般就労への就職支援への取り組み

就労継続支援事業所及び就労移行支援事業所に所属する利用者さんが身近な地域で働いているピアサポーター（障害者雇用）との交流、インタビューを通し、自身の働き方や就職活動をどう進めるか考えられる機会を作ることになりました。



ご利用者さん、施設職員（就労、相談）、行政、関係者含め総勢42名で企業見学をしてきました。

【検討課題①】一般就労への就職支援での成果

- ①実際に働く方の仕事の様子を見て話を聞くことで、施設利用者さんの就労への目標設定、一般就労への意識を高めることができた。

利用者さんの声

- ・作業の様子を見て働くには体力が必要だと思った。自分は見学だけで疲れた。
- ・就職は一人でするものではなく、色々な人の協力がある事を知った。
- ・仕事をする上で相談が大切な事だと言っていた。就労に向けて困ったことを相談できるようになりたいと思った。

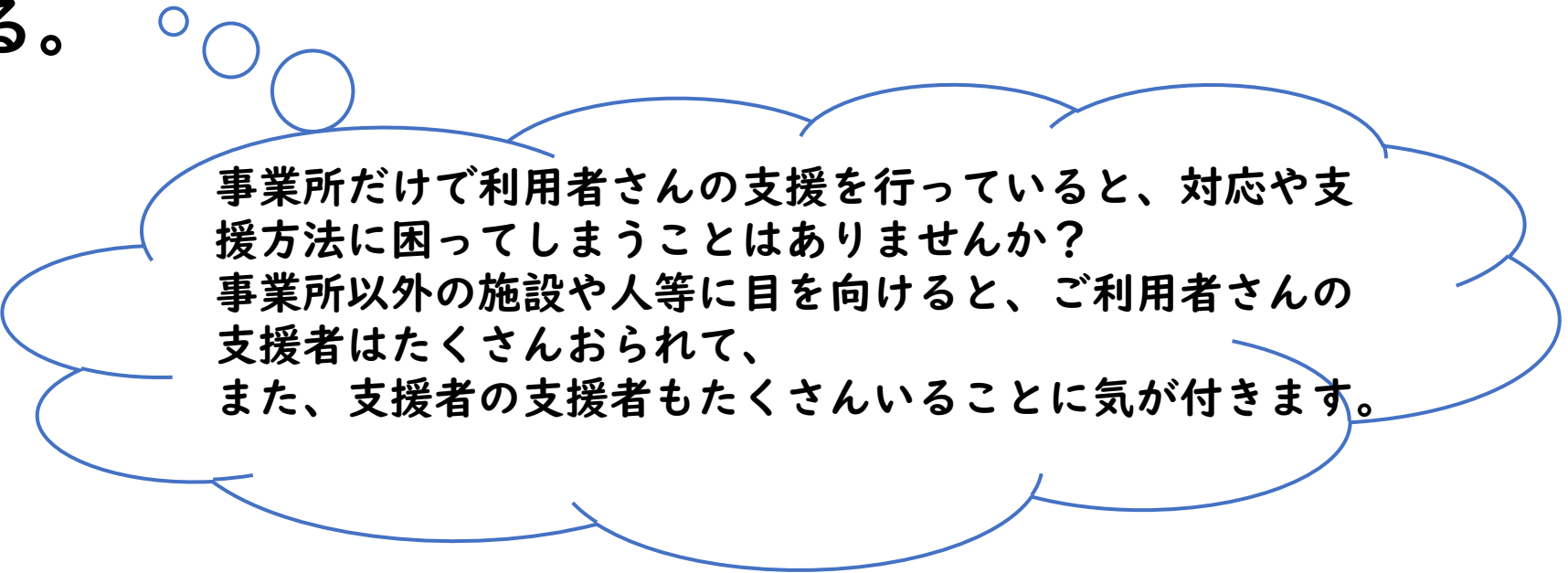
- ②個別のニーズを、各事業所（就労支援事業所、相談支援事業所）行政機関、地域企業と情報を共有、現状を知ることができた。

- ③事業所内だけで就労支援に取り組むのではなく、地域の社会資源を活用し地域課題として就労支援に取り組むネットワーク作りができた。

- ・ 企業からの貴重な声

自分たちは（障害の）プロフェッショナルではないので

「障害」について対応に困る時がある。そういった場合は支援者に立ち会ってもらい共に作業を行っていく。一緒にやっていくことで少しずつではあるが自分たちも対応方法を身に付けることができる。



事業所だけで利用者さんの支援を行っていると、対応や支援方法に困ってしまうことはありませんか？
事業所以外の施設や人等に目を向けると、ご利用者さんの支援者はたくさんおられて、
また、支援者の支援者もたくさんいることに気が付きます。

【取り組み】 事例検討、虐待防止合同研修

【取り組み】 SNSのアカウント「カミングひみ」の開設

【取り組み】 障害者就業・生活支援センターと地域の就労支援事業所等と相互に情報を交換・アセスメント研修の実施

【その他検討課題】 交通手段が少ない、安心して利用できる交通の確保
教育から就労に向けた支援学校や高等支援学校との連携





終わりに・・・

私たちサビ児管は、日々ご利用者さんの側において「こんな自分になりたい」「こんな生活がしたい」等、ご利用者さんの願いや想いを実現できるように奮闘しているのではないのでしょうか。

その支援の中で知り得た、大切なニーズや想いを自立支援協議会に届け、他の支援者や障害福祉関係者に関わらずつながりを持ち、誰もが安心して生活をし希望を叶えることができる地域づくりに向け、具体的な協議や取り組みを行っていくことが、サビ児管としての大切な役割のひとつだと考えています。

ぜひ皆さんも、事業所の外にも目を向け関係機関や地域の方々と協力しながら、ご利用者さんを支えていく仕組みを作っていくという視点を大切に共に頑張っていきましょう。